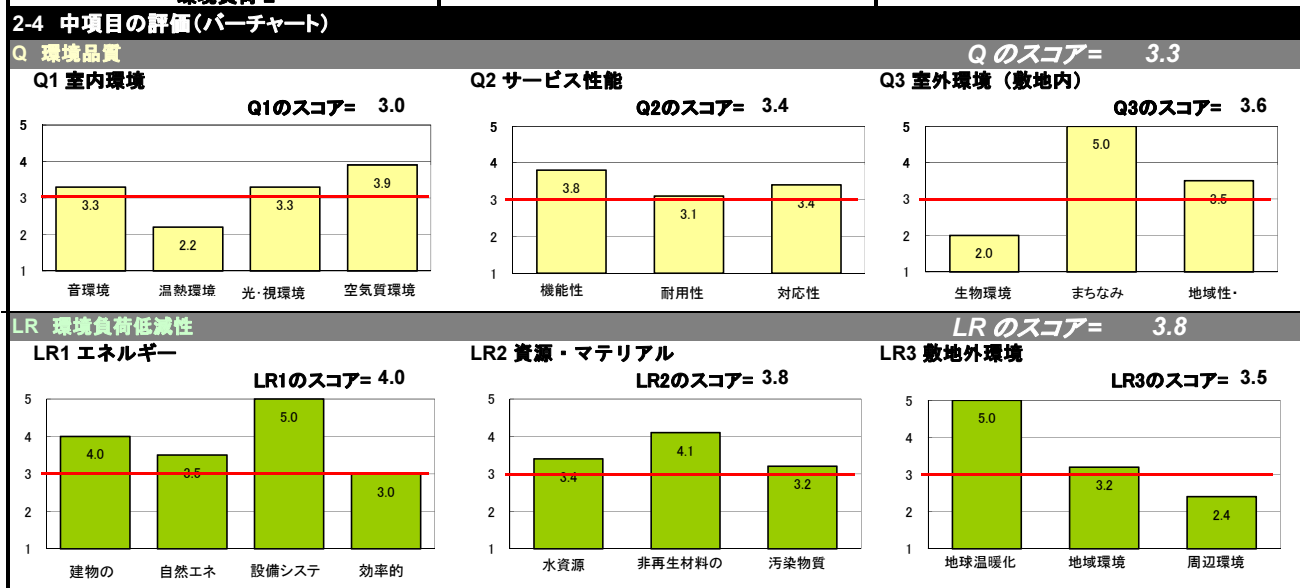
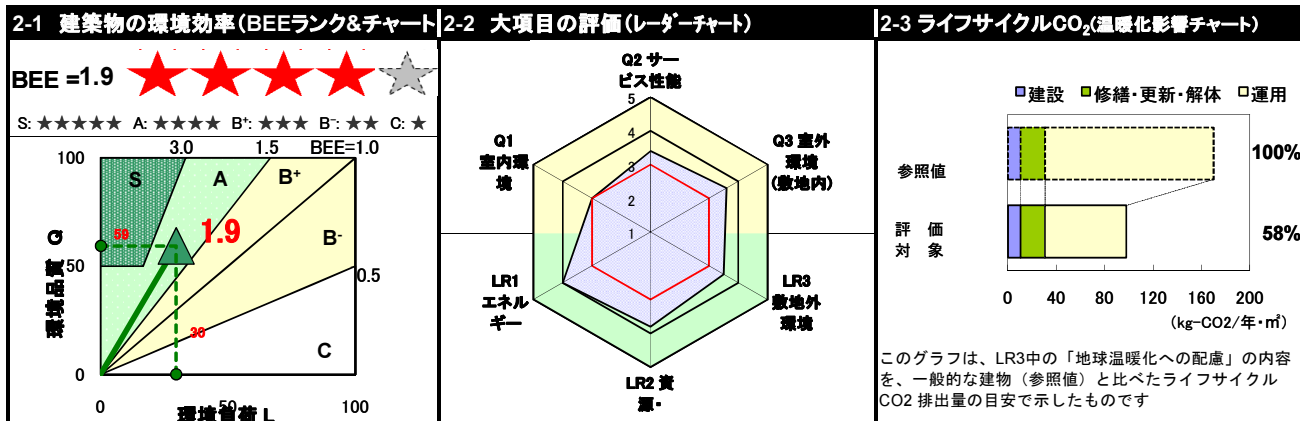


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)親友会ビル	階数	地上8F
建設地	京都市 中京区 手洗水町 652番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域(一部準防火地域)	平均居住人員	400 人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	2,500 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年12月 予定	評価の実施日	2010年9月21日
敷地面積	534 m ²	作成者	西出英紀
建築面積	480 m ²	確認日	2010年9月22日
延床面積	3,671 m ²	確認者	西出英紀



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・京都の都市軸烏丸通に面することから、端正でシンプルなダブルスキンカーテンウォールのファサードとし、京都らしさ(数寄)を表現した景観としている。 ・ライフサイクルCO₂の排出量を削減できる計画としている。	・特に無し	
Q1 室内環境 ・西面外装を電動ブラインド内蔵ダブルスキンカーテンウォールで構成し、明るく健康的でありながら、熱負荷を抑制した室内環境を実現している。	Q2 サービス性能 ・貸室全体を乾式二重床とすることにより、給排水管をスラブ上転がしとし、将来の水廻りの変更を容易にしている。 ・給排水管やダクトを設備バルコニーに設けることにより、	Q3 室外環境 (敷地内) ・狭小地でありながら、8F、RFに屋上庭園を設け、ヒートアイランドの抑制に努めると共に、立体的な緑地形成を計っている。
LR1 エネルギー ・電動ブラインド内蔵ダブルスキンカーテンウォール、外壁・屋根の断熱材、高効率照明器具、高効率エアコンの採用により建物の熱負荷を抑制するとともに、効率的な設備計画としている。	LR2 資源・マテリアル ・既存ピンコロ舗装の一部を再利用するなど、積極的にリサイクル材をしようしている。 ・ODP=0の冷媒を採用し、ハロン消火剤を一切使用していない。	LR3 敷地外環境 ・周辺とスカイラインを揃えるなど、市街地景観に配慮している。 ・ライフサイクルCO₂排出量を抑えた計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される